

LifeSize[®] Networker[™]

LifeSize[®] Networker[™]

インストールガイド

May 2008

Copyright Notice

©2006 - 2008 LifeSize Communications Inc, and its licensors. All rights reserved.

LifeSize Communications has made every effort to ensure that the information contained in this document is accurate and reliable, but assumes no responsibility for errors or omissions. Information in this document is subject to change without notice. Companies, names, and data used in examples herein are fictitious unless noted. This document contains copyrighted and proprietary information, which is protected by United States copyright laws and international treaty provisions. No part of the document may be reproduced or transmitted, in any form or by any means, electronic or mechanical, for any purpose, without the express written permission from LifeSize Communications.

Trademark Acknowledgments

LifeSize® is the trademark of LifeSize Communications Inc. All other trademarks are the property of their respective owners.

Patent Notice

For patents covering LifeSize® products, refer to <http://www.lifesize.com/support/legal>.

Contacting Customer Support

If you have questions, concerns, or need assistance, contact your LifeSize Channel Partner.

Providing Customer Feedback

LifeSize Communications welcomes your comments regarding our products and services. If you have feedback about this or any LifeSize product, please send it to feedback@lifesize.com. Contact information for LifeSize Communications is as follows:

<i>Method</i>	<i>Address</i>
Internet	http://www.lifesize.com
E-mail	support@lifesize.com
Phone	(877) LIFESIZE or (877) 543-3749 (512) 347-9300
Fax	(512) 347-9301

LifeSize Networker へようこそ

LifeSize Networker はオールインワン タイプの強力なゲートウェイです。IP ネットワークと統合サービス デジタル ネットワーク (ISDN) を統合し、複数の小型ネットワーク インターフェイスの機能を提供します。LifeSize Networker を使用すると、LifeSize ビデオ通信システムからシームレスな IP-ISDN 通話が可能になります。

LifeSize Networker の設置

LifeSize Networker のパッケージには、次のコンポーネントが含まれています。

- LifeSize Networker 本体
 - BRI または PRI ポート用 RJ-45 ケーブル 4 本 (3m)
 - LifeSize Networker を次の機器に接続するための 9m の RJ-45 ケーブル 1 本
 - LifeSize Room または LifeSize Team MP
または
 - スタンドアロン機器として構成する場合はネットワーク ポート
- 注: LifeSize スタンドアロンの機器として設置した Networker には、電源アダプタと電源コードも必要です。これらの部品のご購入については、LifeSize 代理店までお問い合わせください。
- フェライト 1 つ
 - クイック リファレンス カード
 - マニュアル CD (マニュアルは、www.lifesize.com からダウンロードすることもできます。)

設置手順


LifeSize Networker を設置する前に、LifeSize ビデオ通信システムにインストールされているシステム ソフトウェアのバージョンが、LifeSize Networker でサポートされていることを確認してください。サポートされているバージョンのリストは、www.lifesize.com のカスタマ サポート ページにある LifeSize Networker リリースノートを参照してください。

LifeSize Room または LifeSize Team MP を使用している場合は、機器を Ethernet ケーブルでコーデックの **Networker** ポートに接続するか、スタンドアロンのデバイスとして LifeSize Networker を設置できます。LifeSize Networker をコーデックに接続する場合は、LifeSize ビデオ通信システムから直接電源を得るため、それ以外の電源は必要ありません。LifeSize Networker をスタンドアロンの機器として設置する場合には、電源アダプタと電源コードが必要です。音声に LifeSize Team または LifeSize Express を使用する場合は、LifeSize Networker をスタンドアロンのデバイスとしてのみ設置できます。


LifeSize Networker を設置するには、次の手順に従います。

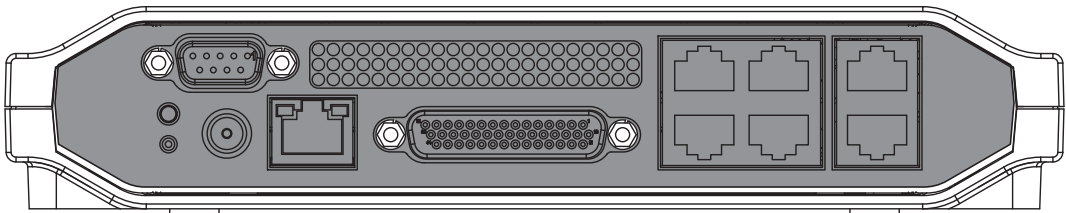
注：正しいセットアップを図で見るとするには、製品パッケージに含まれている『クイックリファレンスカード』を参照してください。

1. 使用している LifeSize ビデオ通信システムと選択した設置オプションに応じて、次のいずれかを行います。

- LifeSize Room または LifeSize Team MP を使用し、LifeSize Networker をコーデックに接続する場合は、長さ 9m の RJ-45 ケーブルの一端を LifeSize Networker の LAN のマーク  が付いたポート、もう一方の端を LifeSize 通信システムの一部であるコーデックの **Networker** ポートに挿入します。

注：電源は、LifeSize 通信システムから供給されます。この構成では、LifeSize Networker を電源に直接接続しないでください。

- LifeSize Networker をスタンドアロンユニットとして使用する場合は、電源アダプタからのコードを LifeSize Networker の  とマークされている電源差込口に挿入します。電源コードの一端を電源アダプタに差し込み、もう一方の端を壁のコンセントに差し込みます。



2. LifeSize Networker の背面パネルで、**RESET** ボタンの上にある LED が緑色に点灯していることを確認してください。LED が黄色に点灯している場合は、システム構成に応じて、9m の RJ-45 ケーブルまたは電源コードとアダプタが正しく接続されていることを確認してください。

注：LifeSize では、LifeSize Networker を BRI または PRI デバイスとして設定するまで、RJ-45 ケーブルを BRI または PRI ポートに接続しないようお勧めしています。11 ページの「LifeSize Networker を BRI または PRI デバイスとして設定」を参照してください。

注：LifeSize Networker の RS-232 ポートは、今後使用するためのもので、このリリースではサポートされていません。2 つ目の PRI ポートは、今後使用するためのもので現在はサポートされていません。V.35 ポートはこのリリースではサポートされていません。

3. 使用している LifeSize ビデオ通信システムに応じて、次のいずれかを行います。

- LifeSize Networker を LifeSize Room または LifeSize Team MP コーデックに接続して設置した場合は、LifeSize Networker を BRI または PRI デバイスとして設定します。11 ページの「LifeSize Networker を BRI または PRI デバイスとして設定」を参照してください。
- スタンドアロンのデバイスとして LifeSize Networker を設置した場合は、まず LifeSize Networker を設定し、さらにスタンドアロン構成でもに機能するように、LifeSize Networker といっしょに使用する LifeSize ビデオ通信システムを設定します。5 ページの「スタンドアロンユニットとしての LifeSize Networker の設定」の手順に従います。

注： Web ブラウザから管理者設定にアクセスするには、Flash Player がインストールされ、Web ブラウザで設定されていることを確認します。Flash Player は、www.adobe.co.jp からダウンロードできます。サポートされているバージョンのリストは、www.lifesize.com のカスタマ サポート ページにある LifeSize Networker リソースノートを参照してください。

スタンドアロンユニットとしての LifeSize Networker の設定

LifeSize Networker は、スタンドアロンのユニットとして機能するように設定できます。この場合、H.323 ゲートキーパーに登録しても、しなくても構いません。

H.323 ゲートキーパーなしで LifeSize Networker と LifeSize ビデオ通信システムを使用するには、各デバイスを他方のデバイスの IP アドレスを使って設定する必要があります。この場合、サービスの中断を避けるため、LifeSize では、両デバイスの静的 IP アドレスを使った設定のみをサポートしています。

LifeSize Networker と 1 つまたは複数の LifeSize を H.323 ゲートキーパーに登録する場合は、各デバイスの設定に静的 IP アドレスを使うことも、DHCP を使用して動的に割り当てられる IP アドレスを使うこともできます。この場合は、両デバイスを同一ゲートキーパーに登録し、LifeSize Networker でゲートウェイのサービス プレフィックスと DID (直通社内電話) 値を設定する必要があります。LifeSize Networker をスタンドアロンユニットとして設定し、H.323 ゲートキーパーに登録する場合の手順については、8 ページの「H.323 ゲートキーパーに登録する場合の設定」の手順を参照してください。

H.323 ゲートキーパーに登録しない場合の設定

LifeSize Networker をスタンドアロン ユニットとして設定し、H.323 ゲートキーパーに登録しない場合は、次の手順に従います。

1. LifeSize Networker の LAN マーク **무무** が付いているポートに 9m の RJ-45 ケーブルを挿入します。RJ-45 ケーブルのもう一方の端を、DHCP 用に設定されているがネットワークに接続されていないコンピュータに差し込みます。

注： コンピュータをネットワークから切断した後、オペレーティング システムが IP アドレスを割り当てるまでお待ちください。

2. LifeSize Networker 管理者設定を開きます。
 - a. ネットワークに接続されていないコンピュータで、Web ブラウザを開いて次のアドレスを入力して開きます。

169.254.100.100

これは LifeSize Networker のデフォルト アドレスです。LifeSize Networker 管理者インターフェイスへのログイン画面が表示されます。

- b. ログイン画面で、インターフェイスを表示する言語を選択します。
- c. 管理パスワード（デフォルトは「1234」）を入力します。

注： LifeSize では、セキュリティ保護のため、最初の設定時に、デフォルトの管理者パスワードを変更することをお勧めします。[パスワード] 画面は、LifeSize Networker 管理者設定の [設定] メニューから使用できます。

- d. [送信] をクリックします。
3. [設定] をクリックします。
 4. [ネットワーク] をクリックします。

5. **[DHCP]** で、**[無効]** を選択します。DHCP を無効にすると、次の値を入力する必要があります。

- **IP アドレス**

LifeSize Networker に対してローカルで設定された静的 IP アドレスを入力します。

- **サブネット マスク**

LifeSize Networker のサブネット マスクの IP アドレスを入力します。

- **デフォルト ゲートウェイ**

LifeSize Networker が使用するデフォルト ゲートウェイの IP アドレスを入力します。

- **DNS サーバー**

DNS サーバーを設定するには、IP アドレスをスペースで区切って入力します。

注： [ホスト名] と [名前検索ドメイン] の設定は省略しても構いません。

LifeSize Networker のホスト名を入力する場合は、ネットワーク上で固有のホスト名を入力してください。デフォルトで、[ネットワークの速度] は [自動] に設定されています。

6. **[変更の保存]** をクリックします。

LifeSize Networker が再起動され、手順 5 で入力した IP アドレスを使って実行されます。

7. LifeSize Networker 管理者設定で **[ログアウト]** をクリックします。

8. コンピュータから RJ-45 ケーブルを取り外し、ネットワークのアクティブなポートに差し込みます。

9. ネットワークに接続したコンピュータで、Web ブラウザを開き、手順 5 で入力した LifeSize Networker の IP アドレスを URL として用いて LifeSize Networker 管理者設定を開きます。ログインするには、手順 2 b から 2 d に従います。

10. **[設定]** をクリックします。

11. **[直接接続]** をクリックします。

12. **[LifeSize システム IP アドレス]** を選択して、LifeSize Networker とともに使用する LifeSize 通信システムの IP アドレスを入力します。

注： LifeSize ビデオ通信システムの IP アドレスは、ユーザー インターフェイスにあるメイン画面の上部に表示されています。

13. **[変更の保存]** をクリックします。

-
14. LifeSize ビデオ通信システムのユーザー インターフェイスを開き、[管理者設定] - [通信] - [全般] を表示します。
 15. [LifeSize Networker IP アドレス] を選択し、手順 5 で入力した LifeSize Networker の IP アドレスを入力します。
 16. LifeSize Networker を BRI または PRI デバイスとして設定します。11 ページの「LifeSize Networker を BRI または PRI デバイスとして設定」を参照してください。

H.323 ゲートキーパーに登録する場合の設定

LifeSize Networker を LifeSize ビデオ通信システムおよび H.323 ゲートキーパーとともに使用する場合は、次の設定手順に従います。

1. LifeSize Networker に IP アドレスを割り当てるために使用する方法（静的または動的）を指定して、次のいずれかを行います。
 - 動的に割り当てられる IP アドレスを使用する場合
 - a. 6 ページの「H.323 ゲートキーパーに登録しない場合の設定」の手順 1 と 2 に従って、LifeSize Networker 管理者インターフェイスを開きます。
 - b. [設定] をクリックします。
 - c. [ネットワーク] をクリックします。
 - d. [DHCP] が [有効] に設定されていることを確認します。
注： この設定を [無効] から [有効] に変更する場合は、[変更の保存] をクリックして変更を保存します。LifeSize Networker が自動的に再起動されます。
 - 静的 IP アドレスを割り当てる場合
 - a. 6 ページの「H.323 ゲートキーパーに登録しない場合の設定」の手順 1 から 8 に従います。
 - b. ネットワークに接続されているコンピュータで、LifeSize Networker に割り当てた静的 IP アドレスを使用して LifeSize Networker の管理者インターフェイスを開きます。
 - c. [設定] をクリックします。
2. [H.323] をクリックします。

3. 次の設定を指定されたとおりに入力します。

a. **H.323 名**

H.323 ID とも呼ばれます。このオプション値は、ゲートキーパーが構成され、H.323 ID と共に登録される必要がある場合に使用されます。ゲートキーパー管理者がシステムに H.323 ID を割り当てた場合は、その ID をフィールドに入力します。

b. **ゲートキーパー ID**

ゲートキーパーで必要とされている場合にのみ [ゲートキーパー ID] を設定します (複数のゲートキーパー構成の場合など)。[ゲートキーパー ID] は、システムを登録するゲートキーパーで構成されているゲートキーパー ID に一致している必要があります。ゲートキーパーに必要でない場合は、ゲートキーパーとの登録に失敗する可能性があるため、この設定は構成しないでください。

c. **ゲートキーパー モード**

LifeSize Networker で H.323 ゲートキーパーを自動的に検出するには、[ゲートキーパー モード] を [自動] に設定します。ゲートキーパーを [手動] に設定し、ゲートキーパーを手動で選択することもできます。[手動] に設定する場合は、プライマリ ゲートキーパーの IP アドレスとポートを指定します。

注: セカンダリ H.323 ゲートキーパーの構成はオプションで、省略しても構いません。

4. [変更の保存] をクリックします。

5. 次の手順に従って、送信通話のゲートキーパー サービス プレフィックスを設定します。

a. [ゲートウェイ] をクリックします。

b. [サービスのプレフィックス] をクリックします。

c. [プレフィックス] 列に 20 までのサービス プレフィックスを入力し、各プレフィックスの帯域幅を [帯域幅] 列で選択できます。サービス プレフィックスを少なくとも 1 つ入力してください。各サービス プレフィックスが次のルールに準拠していることを確認します。

- 数字のみが使用されている。
- 5 文字を超えない。
- ゲートキーパーにまだ登録されていない。
- 別のサービス プレフィックスの一部でない。
- 複数の LifeSize Networker をネットワークで使用している場合は、別の LifeSize Networker がすでに設定されていない。

サービス プレフィックスを 1 つだけ定義し、帯域幅として [自動] を選択した場合、LifeSize Networker は、すべての通話に対し、LifeSize ビデオ通信システムで通話用に選択された帯域幅を使用します。サービス プレフィックスを 1 つだけ定義し、帯域幅として [自動] 以外を選択した場合、LifeSize Networker は通話用に選択された帯域幅し、LifeSize ビデオ通信システムで選択されている帯域幅は無視します。

注： 電話をかけるときは、電話番号の前にサービス プレフィックスをダイヤルする必要があります。

6. [変更の保存] をクリックします。

注： プレフィックスを削除するには、[削除] チェックボックスを選択してから [変更の保存] をクリックします。

7. 次の手順に従って、受信電話の DID 値を設定します。

- a. [直通社内電話] をクリックします。
- b. [DID 内線番号の長さ] で、ISDN 番号の最後の非共通桁数を入力します。たとえば、ISDN 受信番号が 5125551212、5125551234、5125551256 の場合、これら 3 つの番号の最後の 2 桁は共通ではないため、DID 内線番号の長さは 2 となります。
- c. オプション: [DID プレフィックス] で、どの受信 ISDN 電話を配信する必要があるかを LifeSize ビデオ通信システムに通知する固有の番号を入力します。DID プレフィックスは、DID 内線番号の長さに基づいて切り捨てられた受信電話番号に適用されます。

8. [変更の保存] をクリックします。

9. DHCP を使って IP アドレスを LifeSize Networker に割り当てる場合は、次の手順に従います。

- a. RJ-45 ケーブルをパーソナルコンピュータから抜き、ネットワークに接続します。動的に割り当てられた IP アドレスで、LifeSize Networker が再起動され、ゲートキーパーへの登録を試みます。
- b. ゲートキーパーのユーザー インターフェイスを開き、LifeSize Networker に割り当てられた IP アドレスを書き留めます。登録したデバイスの IP アドレスを見つける方法については、お使いのゲートキーパー製品の説明書を参照してください。

注： LifeSize Networker の管理者インターフェイスを開いて LifeSize Networker を BRI または PRI デバイスとして設定するには、動的 IP アドレスが必要です。

-
10. H.323 ゲートキーパとともに LifeSize Networker を使用する LifeSize ビデオ通信システムをそれぞれ登録します：
 - a. LifeSize ビデオ通信システムのユーザー インターフェイスを開き、[管理者設定] - [通信] - [H.323] を表示します。
 - b. [H.323 外線番号] の値は、手順 7 で入力した DID プレフィックスと DID 外線番号です。たとえば、DID プレフィックス値が 234 の場合、DID 外線番号の長さが 4 で ISDN 番号の末尾 4 桁が 8989 であれば、H.323 外線番号は 2348989 となります。DID プレフィックスを指定しなかった場合、H.323 内線番号は DID 外線番号と同じです（この例では 8989）。
 - c. [ゲートキーパー モード] では [手動] を選択して、プライマリ ゲートキーパーの IP アドレスとポートを指定します。
 - d. H.323 の残りの設定を完了するには、LifeSize ビデオ通信システム製品の説明書を参照してください。
 11. LifeSize Networker を BRI または PRI デバイスとして設定します。
「LifeSize Networker を BRI または PRI デバイスとして設定」を参照してください。

LifeSize Networker を BRI または PRI デバイスとして設定

お使いの環境で LifeSize ビデオ通信システムとともに機能するように LifeSize Networker をセットアップした後で、LifeSize Networker を BRI または PRI デバイスとして設定する必要があります。PRI または BRI のいずれかを選択できますが、同時に両方を使用することはできません。

電話会社は、次のプロトコルのいずれかを使って ISDN を提供しています。

- **基本インターフェイス (BRI)**
BRI を使った ISDN 電話は、ISDN 機能への簡単なアクセスを提供し、ターミナル アダプタを必要としません。
- **1 次群インターフェイス (PRI)**
PRI チャンネルを使った ISDN 電話は、T キャリア システム回線（米国、カナダ、日本）または E キャリア回線（その他の国）で処理されます。チャンネルは、ビデオ会議など、特別なニーズに合わせて、必要に応じた再割り当てが可能です。
LifeSize Networker を BRI または PRI デバイスとして設定する前に、スイッチがサポートされていることを確認してください。サポートされているスイッチのリストについては、www.lifesize.com のカスタマ サポート ページにある LifeSize Networker リソースノートを参照してください。

管理者設定へのアクセス

Web ブラウザから表示できる管理者設定画面で、LifeSize Networker を BRI または PRI デバイスとして設定できます。

LifeSize Networker の管理者設定にアクセスするには、次の手順に従います。

1. Web ブラウザを開いて、次のいずれかを行います。
 - LifeSize Room または LifeSize Team MP コーデックに接続して LifeSize Networker を設置した場合は、LifeSize ビデオ通信システムのメインページに表示されている IP アドレスに移動します。
 - LifeSize Networker をスタンドアロンのユニットとして設置した場合は、5 ページの「スタンドアロンユニットとしての LifeSize Networker の設定」で LifeSize Networker に割り当てた IP アドレスに移動します。
2. ログイン画面で、インターフェイスを表示する言語を選択します。
3. 管理パスワード（デフォルトは「1234」）を入力します。

注： LifeSize では、セキュリティ保護のため、最初の設定時に、デフォルトの管理者パスワードを変更することをお勧めします。LifeSize Networker をスタンドアロンユニットとして使用している場合は、LifeSize Networker の管理者設定の [設定] メニューから [パスワード] 画面を使用できます。
4. [送信] をクリックします。
5. 構成に応じて、次のいずれかを行います。
 - LifeSize ビデオ通信システムに接続された LifeSize Networker を使用している場合は、[設定] タブで [通信] をクリックしてから、[LifeSize Networker] をクリックします。
 - スタンドアロンユニットとして LifeSize Networker を使用している場合は、[設定] をクリックしてから、[ISDN] をクリックします。

BRI デバイスとしての LifeSize Networker の設定

基本速度インターフェイス（BRI）を備えた ISDN 電話は、ISDN 機能への簡単なアクセスを提供し、ターミナルアダプタの必要性を排除します。BRI 回線はそれぞれ個別に有効または無効にできますが、すべての回線を同じスイッチに接続する必要があります。

ほとんどの ISDN 回線は、B チャンルと呼ばれる 2 本の回線から成ります。それぞれの BRI 回線と 1 つの番号またはチャンネルあたり 1 つの番号として設定できます。

サービス プロファイル識別子 (SPID) は、北米スイッチの各 B チャンネルに関連付けられている場合があります。SPID は、電話会社の機器に、B チャンネルのデバイスが音声またはデータ情報を受け入れるかどうかを通知します。SPID は、電話会社に ISDN BRI を注文した際に割り当てられます。この 3 桁から 20 桁の数値文字列は、LifeSize Networker を設定する際に手動で指定できます。

LifeSize Networker で BRI 回線を設定するには、次の手順に従います。

1. 管理者設定を開きます。12 ページの「管理者設定へのアクセス」を参照してください。
2. [BRI の単一番号] を選択し、各 BRI 回線を単一の番号として設定するか、[BRI ISDN 番号] を選択し、各チャンネルの ISDN 番号の範囲を設定します。
3. [BRI の単一番号] を選択したら、次の手順に従います。
 - a. メニュー バーから [設定] を選択します。
 - b. [編集] ボタンをクリックします。
 - c. LifeSize Networker を接続しているスイッチを選択し、[変更の保存] をクリックします。
 - d. 台湾で LifeSize Networker を使用している場合は、[ISDN SendingComplete] オプションで [有効] を選択します。
 - e. メニュー バーから [単一の番号] を選択します。
 - f. 設定する BRI 回線を選択し、[編集] をクリックします。
 - g. BRI 回線の番号を入力し、[変更の保存] をクリックします。
4. [BRI ISDN 番号] を選択したら、次の手順に従います。
 - a. メニュー バーから [ISDN 番号] を選択します。
 - b. 設定する BRI 回線を選択し、[編集] をクリックします。
 - c. 選択した BRI 回線で範囲の最初と最後の番号を入力し、[変更の保存] をクリックします。
 - d. メニュー バーから [チャンネル] を選択し、BRI チャンネルを設定します。
 - e. [BRI 設定] 表の下にある [編集] をクリックします。
 - f. LifeSize Networker を接続しているスイッチを選択し、[変更の保存] をクリックします。

-
- g. National ISDN スイッチを使用している場合は、SPID 表の下にある [編集] をクリックして、サービス プロファイル識別子 (SPID) を設定できます。
- 注: スイッチが SPID をサポートしない場合は、SPID を設定することはできません。
- h. 設定する BRI 回線番号を選択し、[手動] を選択して SPID を手動で割り当てます。
- i. 各回線の SPID 番号 (各 B チャンネルに番号 1 つ) を入力します。
- j. [変更の保存] をクリックします。
- k. 台湾で LifeSize Networker を使用している場合は、[ISDN SendingComplete] オプションで [有効] を選択します。
- 注: 各チャンネルの ISDN 番号の範囲を設定する場合は、受信電話が BRI 回線の最初の B チャンネルに対して設定する番号を使用する必要があります。
LifeSize Networker は、BRI 回線の 2 番目の B チャンネル用に設定された番号をダイヤルした受信電話をサポートしていません。
5. BRI 回線の管理コントロールを設定するには、メニューバーから [全般] を選択し、[編集] ボタンをクリックします。
6. 設定する BRI 回線を選択 (または全回線を同時に設定するには [すべて] を選択) し、[管理者コントロール] で [アクティブ] または [非アクティブ] を選択します。
- 注: [管理者コントロール] が非アクティブである場合は、[回線の状態] も非アクティブになります。[管理者コントロール] がアクティブな場合は、回線がスイッチに接続され、ISDN 通信が確立された場合にのみ [回線の状態] がアクティブになります。
7. [変更の保存] をクリックします。
8. **ISDN BRI** というラベルと番号の付いたポート (4 つまで) に、3m の RJ-45 ケーブルを接続します。ケーブルのもう一方の端を ISDN スイッチに接続します。番号を設定した順序で BRI 回線が接続されていることを確認します。
9. LifeSize Networker の電源投入サイクルを実行します。LifeSize Networker の電源投入サイクルを実行するには、LifeSize Networker の背面パネルにある **RESET** (リセット) ボタンを押してからすぐに放します。LifeSize Networker を LifeSize Room または LifeSize Team MP とともに使用している場合は、LifeSize システムを再起動するか、LifeSize システムと LifeSize Networker を接続している RJ-45 ケーブルをいったん取り外してから挿入し直すことでも LifeSize Networker の電源投入サイクルを実行できます。
- 注: LifeSize Networker の設定でスイッチの種類を変更した場合は、LifeSize Networker の電源投入サイクルを実行してください。

-
10. 電話をかけ、Networker LED（背面パネルの左側）が緑色に点灯することを確認します。緑色に点灯したら、電話がアクティブで、LifeSize Networker が正しく設定されたことを意味します。LED が黄色に点灯する場合は、すべてのケーブルが正しく接続されているかどうかを確認してください。

PRI デバイスとしての LifeSize Networker の設定

1 次群インターフェイス（PRI）チャンネルを使った ISDN 電話は、T キャリア システム回線（米国、カナダ、日本）または E キャリア回線（その他の国）で処理されます。

注： PRI ポートは自動的に有効になっており、無効にすることはできません。

PRI は、T1 回線を使用する 23 の B チャンネル、または E1 回線を使用する 30 の B チャンネルから構成されます。各 PRI 回線は、単一の番号として、または B チャンネルにつき 1 つの番号の範囲を設定できます。

PRI 回線のラインコーディングとフレーミングは、電話会社によって指定されています。

	ラインコーディング	フレーミング
T1	B8ZS (Bipolar 8 with Zero Substitution)	ESF、拡張スーパーフレーム (推奨)
E1	HDB3 (E1 回路で推奨)	CRC4 (巡回冗長検査 4 ビット)

PRI チャンネルを設定するには、次の手順に従います。

1. 管理者設定を開きます。12 ページの「管理者設定へのアクセス」を参照してください。
2. [PRI の単一番号] を選択し、各 PRI 回線を単一の番号として設定するか、[PRI ISDN 番号] を選択し、各チャンネルの ISDN 番号の範囲を設定します。
3. メニューバーから [設定] を選択します。
4. [編集] ボタンをクリックします。
5. 回線の種類、ラインコーディング、フレーミング法を選択します。
6. ISDN サービス プロバイダがビデオ NSF (Network-Specific Facility) コードを必要とし、提供する場合は、ビデオ電話をかけるときにビデオ NSF コードが送信されるように [ビデオ NSF] で [有効] を選択します。[有効] を選択した場合は、[ビデオ NSF コード] にビデオ NSF コードの値を入力します。0 ~ 31 の範囲の数値を入力してください。
7. LifeSize Networker を接続するスイッチを選択します。
8. [変更の保存] をクリックします。

-
9. 設定した回線の種類に応じて、次のいずれかを行います。
 - 回線の種類として T1 回線を選択した場合は、[PRI T1 ケーブル長] の値を選択します。PRI T1 ケーブル長は、LifeSize Networker デバイスと外部 T1 回線用の電話会社機器を接続しているケーブルの長さです。
 - 回線の種類として E1 を選択し、LifeSize Networker をメキシコで使用する場合は、[E1 回線のタイプ] の値として [75 オーム] を選択してください。
 10. [変更の保存] をクリックします。
 11. 手順 2 で [PRI の単一番号] を選択したら、次の手順に従います。
 - a. メニューバーから [単一の番号] を選択します。
 - b. [編集] をクリックします。
 - c. PRI 回線の番号を入力し、[変更の保存] をクリックします。
 12. 手順 2 で [PRI の ISDN 番号] を選択したら、次の手順に従います。
 - a. メニューバーから [ISDN 番号] を選択します。
 - b. [編集] をクリックします。
 - c. 選択した PRI 回線で専用範囲の最初と最後の番号を入力します。
 - T1 では、23 の番号の範囲、B チャンネルにつき 1 つの番号を入力します。
 - E1 では、30 の番号の範囲、B チャンネルにつき 1 つの番号を入力します。
 - d. [変更の保存] をクリックします。
 13. LifeSize Networker の電源投入サイクルを実行します。LifeSize Networker の電源投入サイクルを実行するには、LifeSize Networker の背面パネルにある **RESET** (リセット) ボタンを押してからすぐに放します。LifeSize Networker を LifeSize Room または LifeSize Team MP とともに使用している場合は、LifeSize システムを再起動するか、LifeSize システムと LifeSize Networker を接続している RJ-45 ケーブルをいったん取り外してから挿入し直すことでも LifeSize Networker の電源投入サイクルを実行できます。

注： LifeSize Networker の設定でスイッチの種類を変更した場合は、LifeSize Networker の電源投入サイクルを実行してください。
 14. **PRI** とラベルが付いているポート 1 に 9m の RJ-45 ケーブル 1 本を接続します。2 つ目の PRI ポートは、今後使用するためのもので現在はサポートされていません。
 15. LifeSize Networker に付属のフェライトを PRI ポートから 8 cm 以内で PRI ケーブルに配置します。
-

-
16. 電話をかけ、LifeSize Networker の LED（背面パネル上の **RESET**（リセット）の上）が緑色に点灯することを確認します。緑色に点灯したら、電話がアクティブで、LifeSize Networker が正しく設定されたことを意味します。LED が黄色に点灯する場合は、すべてのケーブルが正しく接続されているかどうかを確認してください。

H.320 ダイヤリング用の並行ダイヤル設定

H.320 ダイヤリングの並行ダイヤルは、デフォルトで有効になっています。並行ダイヤルを無効にするには、次の手順に従います。

1. 12 ページの「管理者設定へのアクセス」で説明されているように、Web ブラウザから設定ページを開きます。
2. 設定する PRI または BRI インターフェイス オプションを選択します。
3. [全般] をクリックします。
4. [並行ダイヤル] メニューの [無効] を選択します。

注： デフォルトは [有効] です。相互運用の問題、またはほかのベンダーの機器との一方向ビデオに問題がある場合、LifeSize では、この設定を [無効] に設定し、電話をかけ直すことをお勧めします。

LifeSize Networker のトラブルシューティング

次に、LifeSize Networker で発生する可能性のある問題と、その原因および解決法について説明します。問題が発生した場合は、まず電話を目で見て調べます。システムが水や熱にさらされていないこと、物理的な損傷がないことを確認します。

ケーブル配線の不具合

接続の不備やゆるんだケーブルは、ハードウェア機器で最も多く見られる問題です。システムの問題を確認する場合は、まず、すべての外部コントロールとケーブル接続をチェックしてください。正しくしっかりと接続されていること、ケーブルを妨害するものがないことを確認します。

次のように、電源が LifeSize Networker に正しく供給されていることを確認します。

- LifeSize Networker を LifeSize Room または LifeSize Team MP コーデックに接続して設置している場合は、9 m の RJ-45 ケーブルを通して電源を供給
- LifeSize Networker をスタンドアロン ユニットとして設置した場合は、電源コードとアダプタから電源を供給

すべてのシステム ケーブルを調べ、どちらの側にも妨害するものがなく、ケーブルがゆるんでいないことを確認します。

LifeSize Networker の再起動とリセット

不明な問題を解決するために、設定を変更せずに LifeSize Networker を再起動したり、LifeSize Networker をデフォルトの状態に戻したりする必要があることがあります。LifeSize Networker は、LifeSize Networker 管理者設定の [メンテナンス] メニューから再起動またはリセットできます。管理者設定からの再起動またはリセットに失敗した場合は、次の手順に従って LifeSize Networker を手動で再起動またはリセットできます。

再起動

設定を変更せずに LifeSize Networker を再起動するには、背面パネルにある **RESET** (リセット) ボタンを押してからすぐに放します。再起動中、LED が赤色とオレンジ色に点滅します。LifeSize Networker アプリケーションの起動が完了すると、LED は緑に点灯します。

デフォルト設定へのリセット

システムをデフォルトの状態に復元するには、次の手順に従います。

1. LifeSize Networker ユニットの背面パネルから電源を取り外します。
2. LifeSize Networker ユニットの背面パネルにある **RESET** (リセット) ボタンを押し続けます。
3. **RESET** (リセット) ボタンを押しながら、ユニットに電源を再接続します。
4. LifeSize Networker の背面パネルにある LED が毎秒 2 回オレンジに点滅したら、**RESET** (リセット) ボタンを放します。ユニットに電源を入れると、LED が 5 ~ 10 秒間オレンジに点滅します。

前の作業イメージに戻す

システムを前の作業イメージに戻すには、次の手順に従います。

1. LifeSize Networker ユニットの背面パネルから電源を取り外します。
2. LifeSize Networker ユニットの背面パネルにある **RESET** (リセット) ボタンを押し続けます。
3. **RESET** (リセット) ボタンを押しながら、ユニットに電源を再接続します。
4. LifeSize Networker の背面パネルにある LED が毎秒 4 回オレンジに点滅したら、**RESET** (リセット) ボタンを放します。

注： LED は、まずオレンジで点滅し (電源を入れた後、5 から 10 秒間)、それから赤で点滅します (電源を入れた後、10 ~ 15 秒間)。

LifeSize Networker のアップグレード

LifeSize Networker ユニットのソフトウェアをアップグレードするには、次の手順に従います。

1. www.lifesize.com/support を開き、[ソフトウェアのダウンロード] ボタンをクリックします。
2. LifeSize Networker ユニットの底部または背面にあるシリアル番号を入力します。
3. ダウンロードするソフトウェア バージョンのリンクをクリックします。
4. ファイルをシステムのローカル ディレクトリにダウンロードします。
5. LifeSize Networker とともに使用している LifeSize ビデオ通信システムに応じて、次のいずれかを行います。
 - LifeSize Networker を LifeSize ビデオ通信システムのコーデックに接続している場合は、Web ブラウザを開いて、LifeSize システムのメインページに表示されている IP アドレスを入力します。
 - LifeSize Networker をスタンドアロン デバイスとして使用している場合は、Web ブラウザを開いて、LifeSize Networker の IP アドレスを入力します。

注： Web ブラウザには、あらかじめ Flash をインストールし、設定しておく必要があります。Flash は、www.adobe.co.jp からダウンロードできます。

6. インターフェイスを表示する言語を選択します。
7. 管理者のパスワードを入力し、[送信] をクリックします。
8. LifeSize ビデオ通信システム コーデックに接続された LifeSize Networker を使用している場合は、[設定] タブで [通信] をクリックしてから、[LifeSize Networker] をクリックします。
9. [メンテナンス] を選択します。
10. [システムのアップグレード] をクリックします。
11. アップグレードで、システムをオリジナルのデフォルト設定に初期化する必要がある場合は、[デフォルト状態へのリセット] チェックボックスを選択します。
12. 手順 1 でダウンロードしたアップグレード ファイルを指定します。
13. [送信] をクリックします。

注： これには数分かかる場合があります。アップグレード処理を途中で中断しないでください。
14. システムのアップグレードが完了すると、アップグレード完了のメッセージが表示されます。ウィンドウを閉じ、さらに管理者設定ウィンドウを閉じます。
15. これで、LifeSize Networker ユニットの準備が整いました。手順 11 で [デフォルト状態へのリセット] チェックボックスを選択した場合は、まず LifeSize Networker 再設定する必要があります。

アップグレード エラー コード

次に、アップグレードが失敗した際に表示される可能性のあるエラー コードについて説明します。

コード	問題	説明
1	内部エラーです。	システムに、重要なファイルがありません。
2	アップグレードへの切り替えに失敗しました。	アクティブなパーティションを設定するコマンドが失敗しました。
3	書き込みに失敗しました。	イメージをアップグレードパーティションにコピーしている際に書き込みエラーが発生しました。通常、これは別の LifeSize 製品でアップグレードイメージを使用している場合に発生します。
4	読み取りに失敗しました。	イメージのアップロード中に、受信データの読み取りに失敗しました。通常、これはアップロード中に接続が切断された場合に発生します。
5	アップグレードのスク립トが失敗しました。	イメージをアップロードした後で、システムが最終処理のため、アップグレード スクリプトを実行します。このエラーは、スク립トの実行に失敗したことを示します。通常、これは別の LifeSize 製品でアップグレードイメージを使用している場合に発生します。
6	アップグレードのスク립トを実行できません。	システムが、アップグレード スクリプトを実行できませんでした。通常、これは別の LifeSize 製品でアップグレードイメージを使用している場合に発生します。
7	アップグレードパーティションをマウントできません。	イメージをシステムにコピーした後で、システムがイメージのマウントに失敗しました。通常、これは、アップグレードイメージが破損しているか、別の LifeSize 製品でアップグレードイメージを使用している場合に発生します。
8	アクセス権がありません。	システムが、アップグレードパーティションを読み取れませんでした。
9	イメージが破損しています。	アップグレードイメージが破損していて、使用できません。通常、これはイメージが不正であるか、デバイスへのアップロード中にエラーが発生した場合に起こります。
10	引数が不正です。	アップグレード処理に不正な引数が送信されました。通常、これは別の LifeSize 製品でアップグレードイメージを使用している場合に発生します。
11	署名が無効です。	暗号化署名が無効です。通常、これはイメージが破損しているか、改ざんされている場合に発生します。
12	暗号の解除に失敗しました。	システムが、アップグレードイメージの暗号化を解除できませんでした。通常、これはイメージが破損しているか、改ざんされている場合に発生します。
13	開発者のシステム。	システムが開発用に設定されており、LifeSize 担当者のみアップグレードを行うことができます。
14	アップグレード中です。	アップグレードがすでに進行中です。システムは、一度に1回のアップグレードしかサポートしていません。